

泉の学び舎  
世田谷区立中里小学校

令和 6 年度

学校関係者評価委員会  
報 告 書

令和 7 年 2 月 8 日

世田谷区立中里小学校  
学校関係者評価委員会

## はじめに

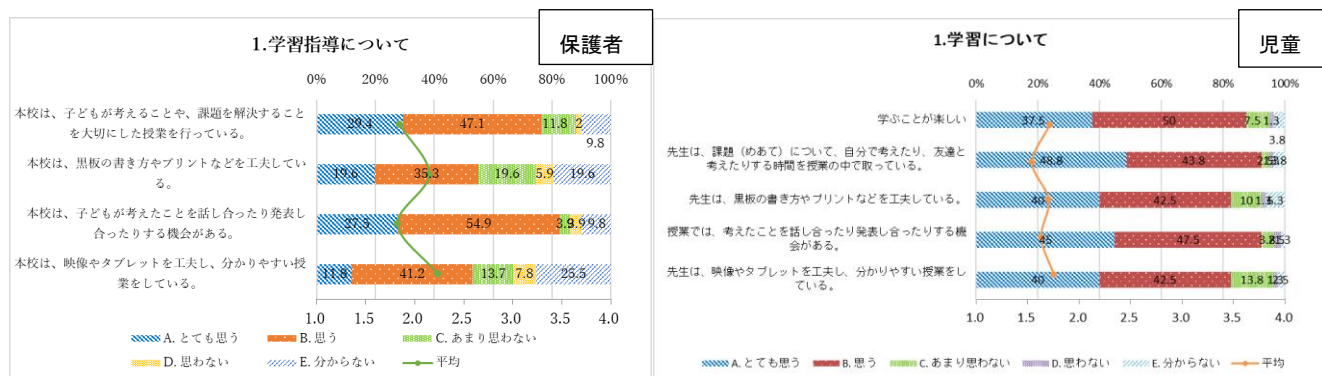
令和6年11月に実施した学校関係者評価アンケートの結果について、学校関係者評価委員会として、考察を行った。そこから指摘しうる、本校の課題や改善点、およびその解決策、改善方法について提案をさせていただいている。そこには、「本年度中に修正できるもの」と「次年度以降の教育活動に生かすもの」とがあるが、時間的な見通しをつけながら、さらなる学校教育活動の充実を期待するものである。

学校評価の結果及び評価委員会としての考察について、以下の通り報告をする。

### 資料分析にあたって

- 注1 A：十分達成されている B：おおむね達成されている \*「A+B」を「肯定的回答」と呼ぶ。  
C：どちらかという達成されていない D：ほとんど達成されていない。  
\*数値は小数点以下を四捨五入する。また、数値の（ ）内は昨年度との対比とする。
- 注2 1～6の項目については、「児童アンケート」（5・6年生のみ）を実施している。

## 1. 学習指導に関すること

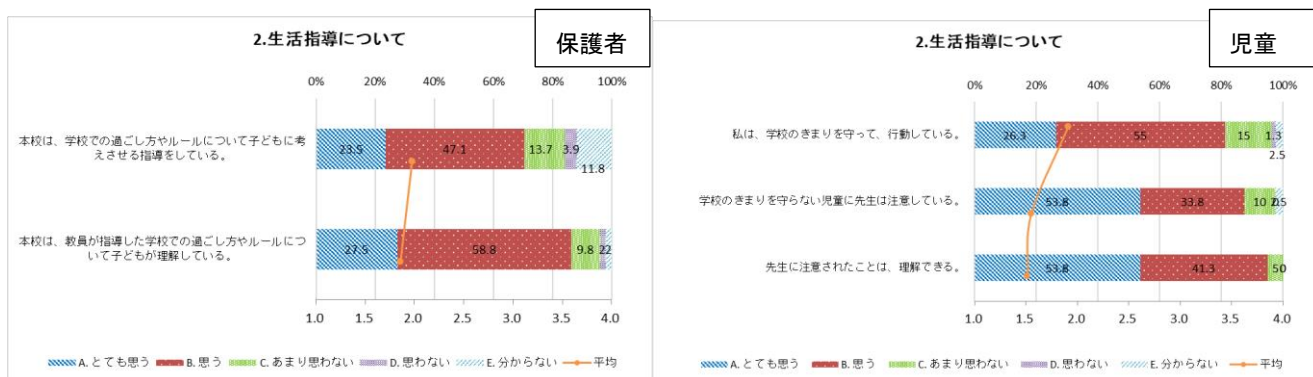


本項目に対する肯定的回答は、保護者が66.7%、児童が87.5%であった。

児童の方は、全般的に楽しんで学習に取り組んでいることがうかがえる。特に自分で考え、発表しあう学習に意欲的である。

一方で、保護者評価における肯定的回答の数値は、児童のそれよりも、-20.8ポイント下回っている。保護者の方々の学習指導に関する要望により応えた、授業実践としていくためには、さらに的確な児童理解に基づいた教材教具の選定や教材作成の工夫が必要である。また、学年別に見ても共通して求められるのは、より効果的にタブレットの活用をしていくなど視覚的に分かりやすい授業づくりをしていくことである。全学年で児童の思考や学習意欲にしっかり寄り添った授業実践を進めていくことに期待したい。

## 2 生活指導に関すること

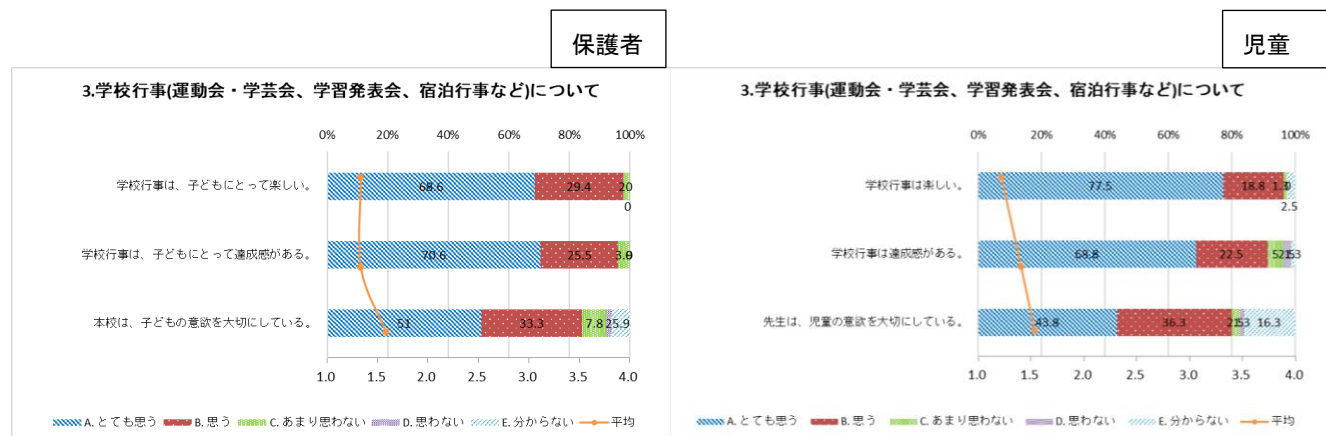


本項目に対する肯定的回答は、保護者が78.4%、児童が88.0%であった。前年に比べて保護者の肯定的回答で5%の減少が見られた。一方で児童の回答は前年並みであった。保護者アンケートの第2設問「教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。」では、86.3%が理解していると回答している。また、児童アンケートの第3設問「先生が注意されたことは、理解できる。」では95.1%の児童が理解できると回答している。一方で、保護者アンケートの第1設問の結果のように、ルールは理解できていても場面ごとに考えて行動が出来るよう指導していく必要がある。場面ごとに自分の行動をふり返り、ルールに則った適切な行動を児童自身が考えられるようにしていきたい。

本校は、学校経営の中核に「中里 WAY（子どもたちに寄り添い、一人一人を大切にする教育活動）」を掲げている。生活指導に関するきまりやルールについても、十分に児童に理解させるとともに、児童が主体的にルール・きまりを守っていけるように運用していく、そのような実践を期待したい。

また、学年・学級間の数値の差がみられる。児童がルールの必要性を理解し、指導においても児童が納得していることを確認しながら進めていくことを全校共通の実践として進めていくことを期待する。

## 3 学校行事について



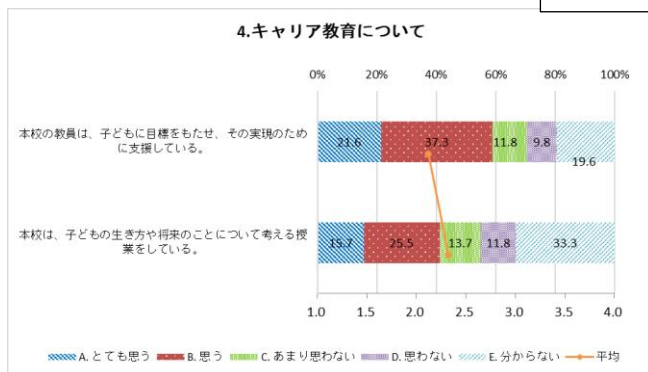
本項目に対する肯定的回答は、保護者が92.8%、児童が89.2%であった。

双方ともに、肯定的評価が9割で本校の学校行事の教育的効果が広く認められる。スポーツフェスタやアーツフェスタの自由記述によるアンケートにも、「子どもの成長がみられた。」「みんなが一生懸命やっている姿に感動した。」といった肯定的な文言が多く、児童・保護者・地域の期待に応えた行事運営となっている。

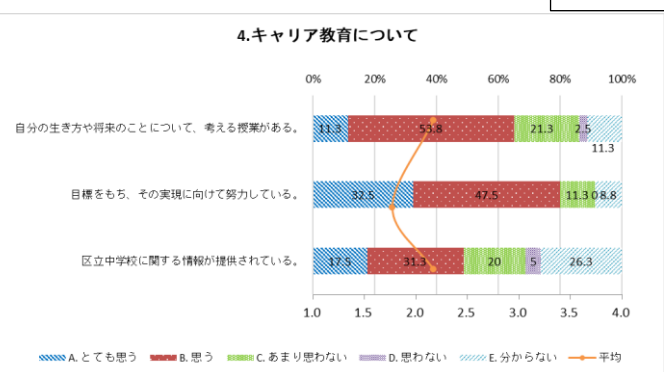
今後も、各行事活動を充実させ、そのことが本校の特色の一つとなり続けていくよう期待するものである。

## 4 キャリア教育について

### 保護者



### 児童



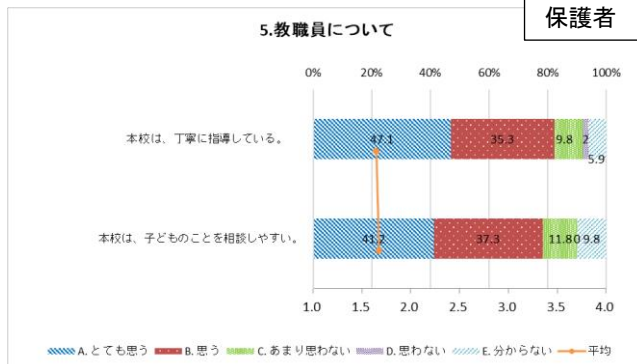
本項目に対する肯定的回答は、保護者が 50.0%、児童が64.6%であった。

キャリア教育については、児童の第2設問では8割の児童が目標をもち、その実現に向けて努力していると回答している。キャリアパスポートを活用したり、地域の大人と接する機会を増やすことで児童が自分の生き方や将来について考える授業を増やしたりしていくことを期待する。

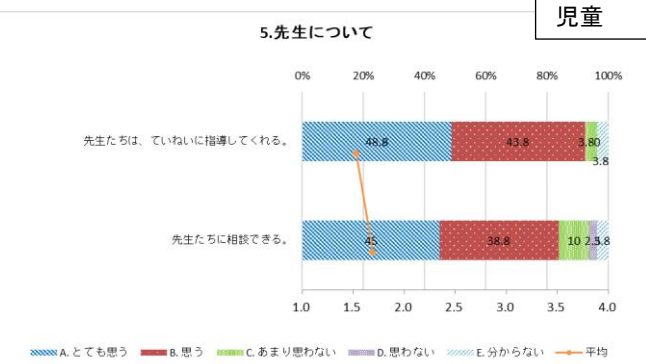
また、児童に対しても、発達段階に合わせながら、キャリア教育としてのめあてをはっきりと伝えていく必要がある。教室掲示など、可視化した手立ても有効と考える。発達段階に応じたキャリア未来デザイン教育について、各教科・領域の指導内容と関連づけた授業を計画的に行っていることを、保護者、地域に対して学校便りやホームページで知らせていく。

## 5 教職員について

### 保護者



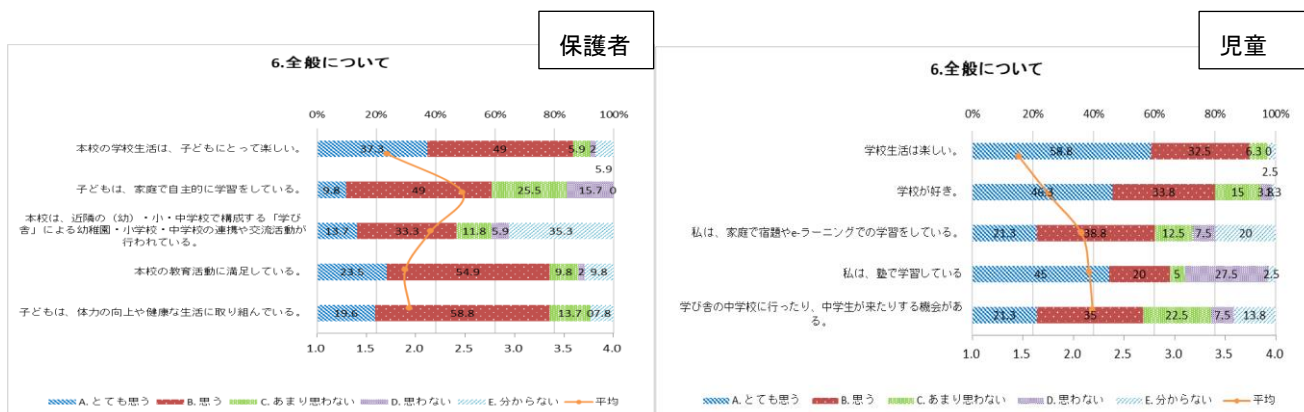
### 児童



本項目に対する肯定的回答は、保護者が80.4%、児童が88.2%であった。「2生活指導について」の項目でも触れたように、本校では「中里WAY（子どもたちに寄り添い、一人一人を大切にする教育活動）」を教育活動の基軸としている。その視点から考えると、児童が90%近く肯定的であることは評価できる。保護者も肯定的評価が80%あることは評価できるが、さらに教職員が保護者や地域との連携を深め、学校・保護者・地域が一体となって中里WAYを達成できるよう期待したい。

児童も教職員も生き生きと健康的に生活し、児童にとってより安心できる学校を目指して欲しい。引き続き、一人一人を大切にして、子どもたちを育ててもらいたい。

## 6 全般について



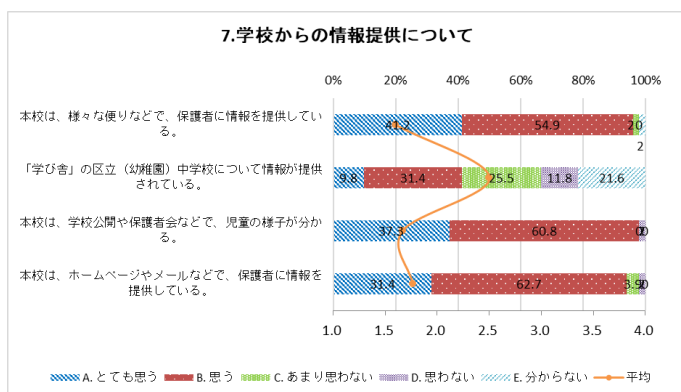
本項目に対する肯定的回答は、保護者が71.8%、児童が70.6%であった。

特に最初の設問「学校は楽しい」に対する回答が、高い数値になっていることは評価できる。

ただ、学習面では、保護者アンケートの数値で、家庭学習の取組は58.8%、学び舎での取組の設問では57.0%となっており、項目全体の数値の比較からすると落ち込みがみられる。家庭学習については、日頃の取組の積み重ねで大きな力の差がでるため、家庭と学校とで、より協力して児童の家庭学習環境を整えてもらいたい。また、「学び舎」についての活動が見えにくいところがあるので、情報提供も積極的に進めていくとよい。

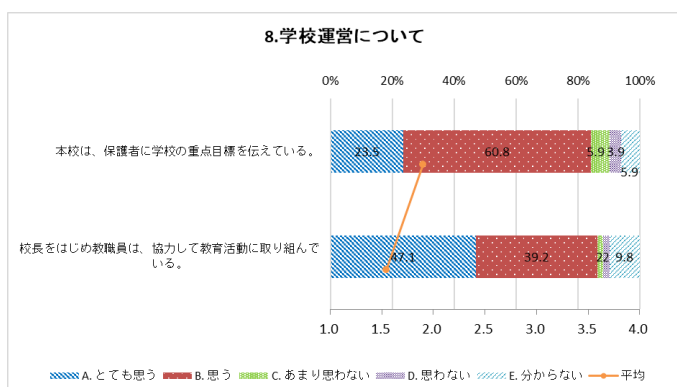
【以下の項目は、保護者アンケートのみの実施となります。】

## 7 学校からの情報提供について



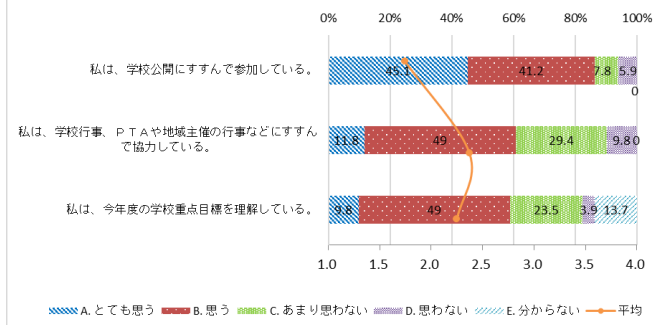
本項目に対する肯定的回答は、保護者が82.3%であるが、「学び舎についての情報提供」の設問については、41.2%にとどまっている。

前項目6でも触れた通り、「学び舎」での取組を、広く紹介する取組が望まれる。



本項目に対する肯定的回答は、保護者が85.3%である。教職員の熱心な取組は、広く保護者・地域の方に伝わっている数値といえる。今回のアンケートで明らかになった課題を踏まえ、より信頼を高めていくことを期待する。

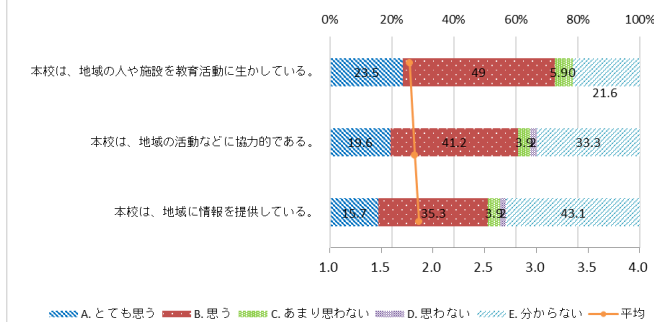
### 9.家庭と学校との連携について



本項目に対する肯定的回答は、保護者が68.6%である。学校公開による情報提供については、評価が高いが、教育活動の重点目標に対する取組について、今後さらなる周知が望まれる。

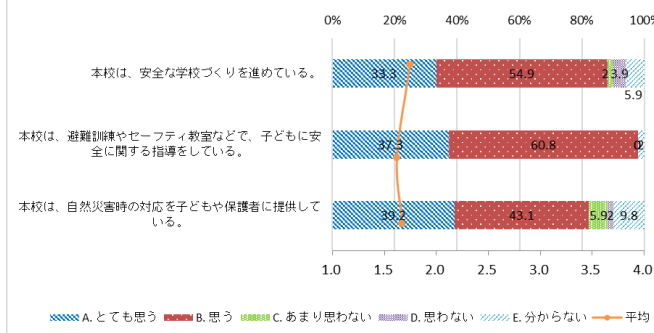
また、PTA（本部運営委員会）の活動も50%弱となっている。今年度は協力頂ける保護者を募り、運営をしてきた。今後、PTAの運営について検討していく必要がある。

### 10.地域との連携について



本項目に対する肯定的回答は、保護者が61%である。本校の教育活動には、ゲストティーチャーによる体験的な学習が数多く計画されている。そうした活動をより広く周知していくことで、より地域・保護者への理解が深まっていくであろう。一方、教職員の「働き方改革」の面から、教職員のヘルスケアをしていくことが学校組織を強化し、安心・安全な学校づくりにつながっていく。そのため、地域行事など地域の活動については、地域の方が主導で、学校も関わりつつ進められるとよい。

### 11.学校の安全性について



本項目に対する肯定的回答は、保護者が89.5%である。月に一度避難訓練を実施し、また、9月には「中里防災の日」として、地域・行政と連携した訓練を行っていることは評価できる。

令和6年度世田谷区立中里小学校学校関係者評価委員会（委員長 芦澤 潤）は、関係者アンケート、教職員による自己評価の評価・分析、並びに教育活動、学校運営など教育課程全般についての観察評価を行い、以上のように令和6年度世田谷区立中里小学校学校関係者評価委員会報告書を取りまとめました。

本委員会は、世田谷区立中里小学校長に対し、本報告書の趣旨を踏まえ、中里小学校学校経営の基本方針にある「中里 WAY（児童に寄り添い、一人一人を大切にする教育活動）」により、子どもたちが生き生きと育ち、児童、保護者、地域の皆様から信頼され、親しみをもたれる学校づくりをより一層推進していただくよう求めます。学校関係者評価委員会としても、中里小学校の教育活動を全面的に支援し、ともに歴史と伝統を育んでいくようご協力申し上げる次第です。

在籍している児童数も年々増加しており、個別の支援や対応の必要性も高まっています。先生方が誠意をもって対応している姿に敬意を表する次第ですが、すべてを学校だけにお任せするのではなく、広く保護者や地域、関係機関の皆様のご理解・ご協力も、引き続き賜うことができればと願っております。

令和6年度の、校長先生を初め教職員の皆様による、中里小学校の教育活動に、心より感謝申し上げます。

令和7年3月8日

令和6年度 世田谷区立中里小学校学校関係者評価委員会

委員長 芦澤 潤

委員 伊藤 麻依

委員 上村 恵子

委員 藤木 隆弘

委員 高橋 亜紀子

委員 乃村 康弘